

米奥小だより

令和7年10月30日(木)

No.29

米奥小学校 校長 北添 忠

〇芋ほり

秋になり、高南台地ではショウガの収穫が最盛期。そんな中、米奥小学校ではサツマイモの収穫を行いました。数日前にサツマイモのつるをのけた畑は、一見すると何もないように見えました。でも、土の中には大きく育ったサツマイモがたくさんあり、子どもたちは、大きなサツマイモを見



つけるたびに「大きい！」などと言いながら芋ほりを楽しんでいました。手で頑張って掘る児童もいれば、スコップを使って掘る児童も。強く引っ張りすぎて割れてしまったり、スコップで傷つけてしまったりとハプニングはたくさんありましたが、サツマイモの量は昨年よりも少し多め。3班に分かれて収穫したたくさんのサツマイモ、「一番長いサツマイモ」「100グラムに一番近いサツマイモ」を班ごとに1個ずつ選んで競い合って楽しみました。

収穫したサツマイモの半分くらいは児童が持ち帰り、残りの半分は、調理実習などで活用する予定です。

〇音楽祭に向けて練習中

11月12日(水)の午前に、窪川地区音楽祭が開催されます。学校教育における授業時数の確保と行事の精選の流れの中、本年度が最後の音楽祭となります。それに向けて、米奥小学校では、全体練習が始まりました。これまでは、CDなどに合わせての各クラスでの練習でしたが、残り3週間を切った今は、毎日1時間、全体練習を行っています。合奏する曲は、荒井由実の「やさしさに包まれたなら」です。この曲はジブリ映画の主題歌にもなった曲なので、多くの人が聴いたことがあると思います。児童らは、指揮をする先生を見ながら演奏をしています。みんなが演奏を合わせるのには難しいようで、まだタイミン



グのずれがあります。これから練習を重ね、発表当日にはいい演奏ができるようになると思いますので、ぜひ、発表を四万十会館まで聴きにきていただけたらと思っています。

〇渋柿で干し柿づくり

学校および隣接する公園（ツリーハウス）に数本の柿の木があ

ります。なぜか、どれも渋柿です。そこで、その柿を使って



干し柿を少し作ることにしました。グラウンドの倉庫の裏にある渋柿は枝が子どもたちの手が届くところまで垂れてきており、そのまま収穫できます。10月28日に4年生が、29日に1.2年生が、30日に5.6年生が収穫し、ピーラーで皮をはいでひもを付けて吊るします。まだ気温が高いのが心配ですが、渋柿が色づいてきたのでとりあえず挑戦です。おいしい干し柿になるといいのですが…。

